

2006 年 1 月の東北地方の天候

【 1 月の特徴 】

- ・ 上旬の低温
- ・ 気温の変動が大きい

(1) 2006 年 1 月の概況

上旬は冬型の気圧配置となり強い寒気が南下したため、気温は東北南部を中心に平年よりかなり低くなったが、中旬以降は冬型の気圧配置は長続きせず、高気圧に覆われる日もあり、寒暖の変動が大きかった。月平均気温の平年偏差は東北地方で-0.8 となり 5 年ぶりに平年を下回った。

月平均気温は東北地方で低い。月降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。月間日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。降雪の深さの月合計平年比は東北日本海側では79%と少なく、東北太平洋側では41%とかなり少ない。

(2) 各旬の天候経過

上旬：期間のはじめは一時冬型の気圧配置がゆるんだが、その後は冬型の気圧配置が続き、強い寒気が南下した。東北日本海側では雪の日が多く、大雪となる日もあった。東北太平洋側では晴れの日が多かった。

平均気温はかなり低い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。

中旬：13～14日にかけて日本海と本州南岸をそれぞれ別の低気圧が通過し、まとまった雨となった。また低気圧に向かって暖かい空気が入ったため各地で高温となった。16日は寒冷前線が通過し、東北日本海側では雨や雪となった。その他の日は冬型の気圧配置となり、気温は平年を下回り、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。

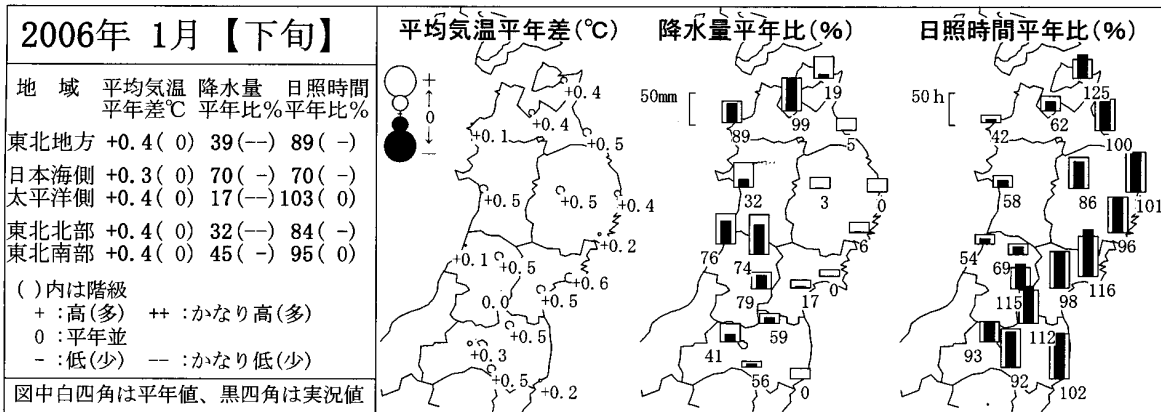
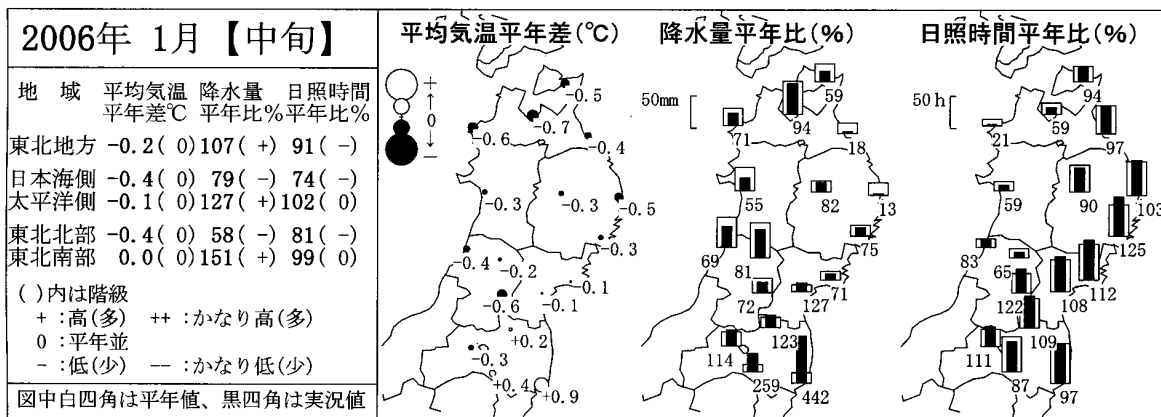
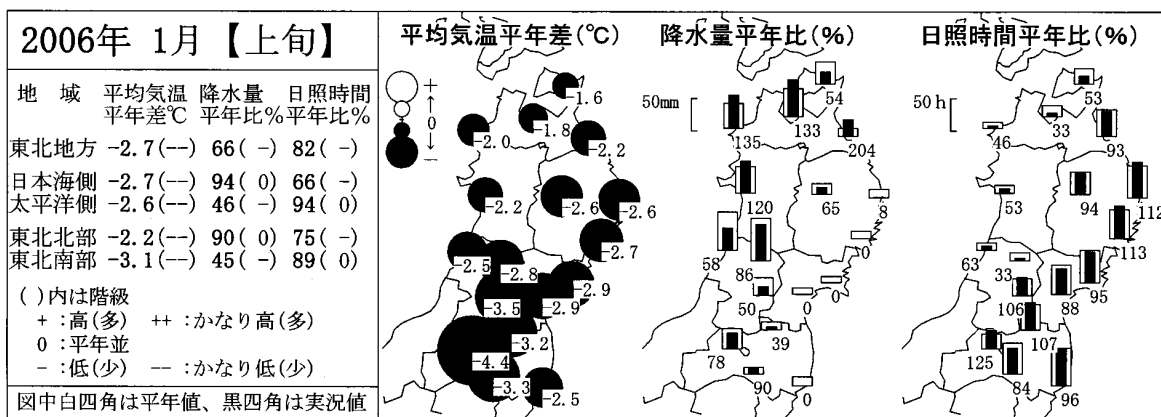
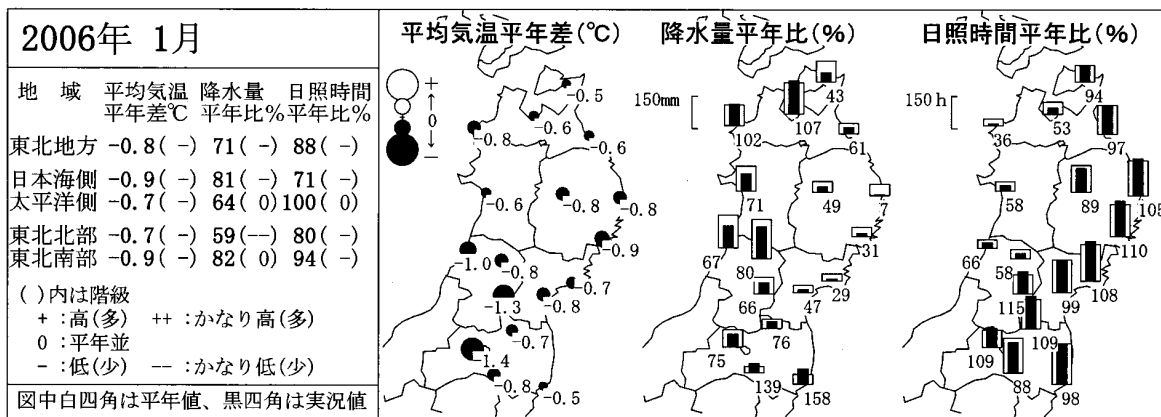
平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部で少なく、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。

下旬：期間の中頃までは冬型の気圧配置となる日が多く、22～23日にかけて強い寒気が南下したため、気温がかなり低くなり、東北日本海側で大雪となった所があった。23日と26日は各地で強風が吹き、交通機関などに影響が出た。期間の終わり頃になると、高気圧に覆われる日もあり気温は平年を上回った。東北太平洋側では期間を通して晴れの日が多かった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。

注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の气象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については 3 ページ目脚注 1 を参照して下さい。
平年値の統計期間は 1971-2000 年です。階級区分については、3 ページ目脚注 2 を参照して下さい。

(3) 2006 年 1 月の期間・旬平均 (合計) 値の平年差 (比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

(4) 2006 年 1 月の月気候表

地 点	月平均気温(平年差)			月降水量(平年比)			月間日照時間(平年比)			月降雪量(平年値)			月最深積雪(平年値)		
	階級	mm	%	階級	h	%	階級	cm	cm	階級	cm	cm	階級		
青森	-2.0 (-0.6) -	155.0 (107) ○		30.1 (53) - *	203 (250) -		136 (86) +								
深浦	-1.2 (-0.8) -	99.0 (102) ○		11.4 (36) - *	130 (123) ○		78 (31)								
								(統計日数 30)							
むつ	-2.1 (-0.5) -	41.5 (43) - *		72.1 (94) ○	107 (175) - *		52 (47) ○								
八戸	-1.8 (-0.6) -	29.5 (61) ○		130.0 (97) ○	75 (95) -		41 (18) + *								
盛岡	-2.9 (-0.8) -	25.0 (49) - *		110.8 (89) -	37 (106) - *		54 (27) + *								
大船渡	-0.2 (-0.9) -	13.5 (31) -		164.1 (110) +	5 (23) - *		5 (7) ○								
宮古	-0.6 (-0.8) -	3.5 (7) - *		171.6 (105) +	6 (43) - *		4 (12) -								
仙台	0.7 (-0.8) -	15.5 (47) -		149.1 (99) ○	5 (29) - *		7 (11) ○								
石巻	-0.2 (-0.7) -	9.5 (29) -		181.6 (108) +	4 (13) -		2 (8) -								
秋田	-0.7 (-0.6) -	81.0 (71) -		25.7 (58) - *	107 (142) -		74 (31) + *								
山形	-1.8 (-1.3) -	50.0 (66) -		102.9 (115) +	99 (163) -		69 (37) + *								
新庄	-2.1 (-0.8) -	146.0 (80) -		24.9 (58) - *	249 (283) -		130 (97) +								
酒田	0.5 (-1.0) -	102.5 (67) - *		26.5 (66) -	129 (138) -		43 (27) +								
福島	0.7 (-0.7) -	33.5 (76) ○		149.4 (109) +	42 (86) - *		17 (18) ○								
若松	-2.1 (-1.4) -	60.5 (75) -		87.8 (109) ○	91 (185) - *		82 (44) + *								
白河	-0.6 (-0.8) -	42.5 (139) +		141.9 (88) -	37 (58) -		13 (14) ○								
小名浜	3.1 (-0.5) ○	73.0 (158) +		186.4 (98) ○	1 (5) ○		1 (3) ○								

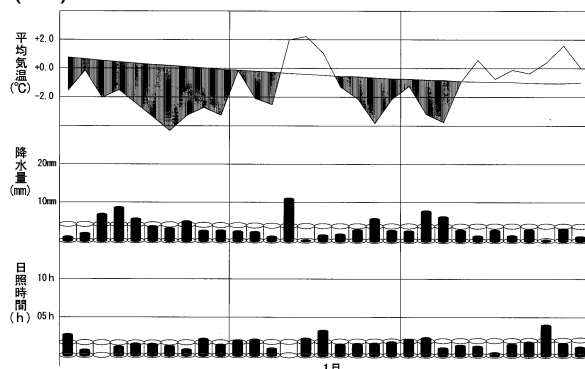
・「階級」の記号の意味は以下のとおり

+ : 高い(多い) : 平年並 - : 低い(少ない) * は「かなり」を表す

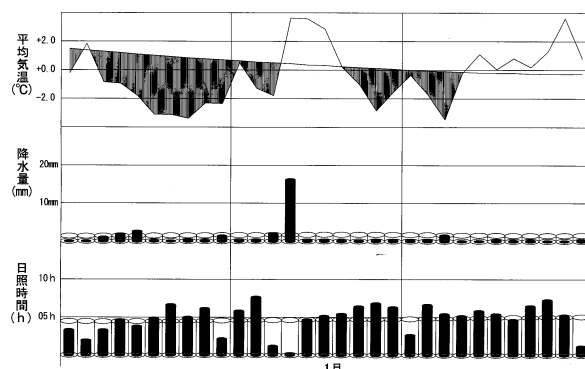
・「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

・値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準完全値)は通常のもと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2006 年 1 月の日別経過図



東北日本海側の日別経過図



東北太平洋側の日別経過図

気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均(気温:実線と点線、降水量・日照時間:黒い円柱と白抜き円柱)

注1) 細分地域

東北日本海側: 青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側: 青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部: 青森県、秋田県、岩手県

東北南部: 宮城県、山形県、福島県

注2) 階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3階級とし、それぞれの階級幅は、1971~2000年の30年間において出現した値を等確率(33.3%)に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

(6) 2006 年 1 月の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、降雪の深さ月合計値多い方から、月最深積雪大きい方からの 3 位まで。)

月降水量 少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	むつ	41.5	43	43.0 (1974)	1935	96.0
3	宮古	3.5	7	2.0 (1983)	1885	52.6

月間日照時間 少ない方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 h (西暦年)	開始年	平年値 h
3	深浦	11.4	36	7.1 (1948)	1940	31.3

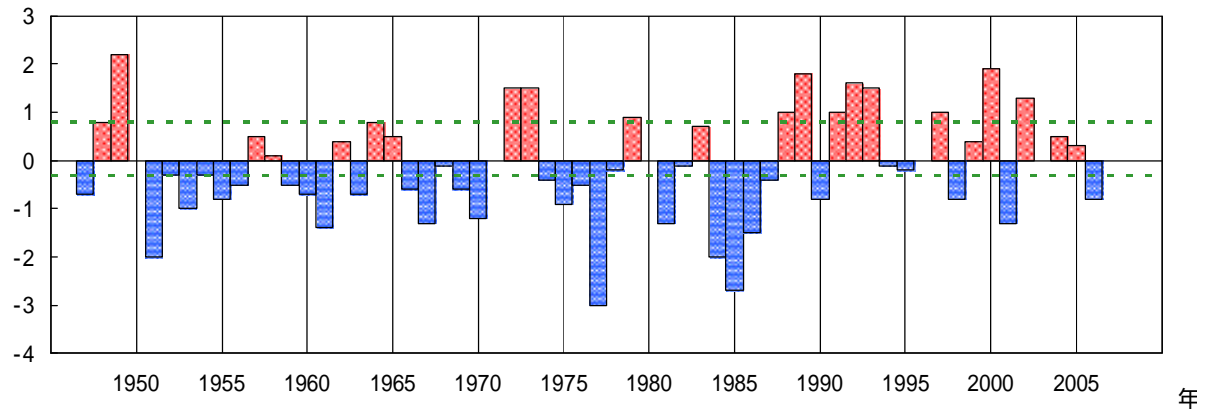
月最深積雪 大きい方からの順位更新

順位	地点名	最深積雪 cm	起 日	これまでの最深 cm (西暦年)	開始年	平年値 cm
1	深浦	78]	24	76 (1940)	1940	31

(7) 1 月の月平均気温の平年偏差の経過図

()

東北地方の1月平均気温平年差の経年変化 (1946 ~ 2006年)



点線に挟まれた範囲が平年並。 - 0.3 平年並 0.8 。